

中国株ウィークリーレポート

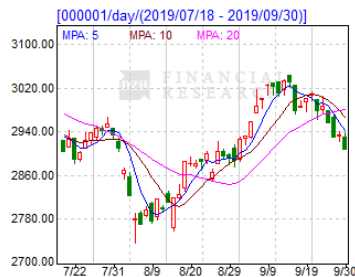
2019/10/7

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位		
	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園 (02007)	10.38	5.17
2 瑞声科技 (02018)	43.50	4.32
3 舜宇光学科技 (02382)	118.70	3.76
4 中国蒙牛乳業 (02319)	30.00	2.74
5 華潤置地 (01109)	33.10	2.48
6 Link REIT (00823)	87.45	2.16
7 新世界發展 (00017)	10.40	2.16
8 チャイ・コム (00762)	8.36	2.08
9 中国海外發展 (00688)	25.05	2.04
10 電能実業 (00006)	53.15	2.02
▼騰落率下位		
	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 創科実業 (00669)	52.50	-4.89
2 CNOOC (00883)	11.54	-3.51
3 ハンセン銀行 (00011)	164.60	-2.89
4 HSBC (00005)	58.25	-2.75
5 中銀香港 (02388)	25.90	-2.08
6 テンセント (00700)	322.80	-2.00
7 中電控股 (00002)	81.00	-1.70
8 香港鐵路 (00066)	43.65	-1.58
9 恒隆地産 (00101)	17.66	-1.45
10 九龍倉置業地産 (01997)	42.35	-1.40

▼今週の主なイベント

- 10月7日(月)
 - 【香港】重陽節で休場
 - 【中国】国慶節連休で休場
- 10月10日(木)
 - 【米国】米中間僚級協議 (~11日)

【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,573.72	372.68	1.42	-0.92	13.92	23,327.46
NASDAQ	7,982.47	110.20	1.40	0.54	20.30	6,635.28
日経225	21,410.20	68.46	0.32	-2.14	6.97	20,014.77
上海総合	2,905.19	-26.98	-0.92	-0.92	16.49	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,814.53	-38.13	-0.99	-0.99	26.70	3,010.65
ハンセン	25,821.03	-289.28	-1.11	-0.52	-0.10	25,845.70
中国企業	10,147.33	-73.65	-0.72	-0.01	0.22	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は0.5%安と3週続落、上海総合指数は0.9%安

香港市場は1日が国慶節で休場のため4営業日の取引。ハンセン指数は4営業日で0.5%安と3週続落した。抗議デモが続く中、節目の26000ポイントを挟んで神経質な値動き。警官の実弾発砲による負傷者の発生で抗議デモがさらに過激化するとの警戒感が広がった。週後半は夜間外出禁止令や集会でのマスク禁止令の発動を巡る思惑で神経質な値動きとなり、4日には節目の26000ポイントを割り込んで引けた。本土市場は1週間の国慶節連休入りのため、1営業日のみの取引。上海総合指数は0.9%安と3週続落した。

今週の展望: 香港市場は神経質な展開か、過激化するデモと米中間僚級協議が焦点

香港市場は神経質な展開が予想される。10-11日にワシントンで米中間僚級通商協議が予定されており、週末に発表される協議結果を見極めようと慎重姿勢が強まる公算が大きい。抗議デモを巡っては5日の「覆面禁止法」の発動後、市民の反発がますます強まっており、香港政府が今後さらに強硬措置を発動することも考えられる。本土市場も今週は米中間僚級協議を10-11日に控えて神経質な相場展開となりそうだ。なお、今週は香港市場、本土市場ともに7日が休場となるため、4営業日の取引となる。

▼今週の期待材料

- ◆9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を下回る、10月のFOMCでの連続利下げ期待が継続
- ◆財新が発表した9月の中国製造業PMIが51.4に改善、市場予想を大きく上回り1年7カ月ぶり高水準
- ◆本土市場の国慶節連休が終了、相互取引制度を通じた本土市場から香港市場への資金流入再開に期待

▼今週の懸念材料

- ◆10-11日にワシントンで米中間僚級通商協議を開催、結果を見極めようと慎重姿勢が強まる公算
- ◆香港で5日から「覆面禁止法」が発動、発動後もデモ隊はマスクをして抗議活動を継続
- ◆香港の8月の小売売上高は23%減、アジア通貨危機を上回る過去最大の下落率に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 27営業日連続で自社株買い、発行済み株式の0.0316%に
- ☆ ペトロチャイナ (00857) : 新疆タリム盆地で巨大ガス層を発見
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 5Gプラン予約件数で予約全体の約6割を獲得
- ☆ 小米集団 (01810) : 連日で自社株買いを実施、年初から発行済み株式の0.86%を取得
- ◇ 李寧 (02331) : NBA ロケッツとの提携を停止、幹部の香港デモ応援ツイートを非難
- ◇ 広東粵運交通 (03399) : 旅客輸送事業者2社を買収、総額1億7540万元
- ★ HSBC (00005) : 最大1万人の人員削減を計画、英FT紙が報道
- ★ 香港鐵路 (00066) : デモ隊による施設破壊で地下鉄駅の閉鎖や短縮営業相次ぐ
- ★ 香港証券取引所 (00388) : ロンドン証取の株主が買収価格の引き上げを要請
- ★ 中銀香港 (02388) : 香港でデモ活動が過激化、本土系銀行の襲撃で被害相次ぐ

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。